

平成 29 年度 教育指導の構想

① 学校教育目標

学校の基本的な役割は、一人一人の能力・個性を最大限に発揮させ、これからの社会の中でその一員として、心豊かに、創造的に生きていくことのできる子どもを育てることにあると考える。

本校のもつ歴史と伝統を受け継ぎ、橘町の豊かな自然や地域力を生かしながら、職員が一体となって教育活動に取り組んでいくことにより、児童の確かな学力、豊かな心、健やかな体を育てていきたい。

《学校教育目標》

生きる力を身に付け、地域の思いを受け継ぐ ときわっ子の育成

＜児童信条＞

やればできる 磨けば光る 一歩でも前進 続けて 続けて

② 本年度教育の重点

ア 確かな学力を育む教育活動の推進

- 児童の学力や学習状況の現状を把握・分析し、主体的・対話的で深い学び等を取り入れた指導方法の工夫・改善を図る。
- 児童の自主的・自発的な学習の意欲を高め、思考力・判断力・表現力等の育成、言語活動の充実を図る。
- 一人一人に応じたきめ細かな指導の充実と学習規律の徹底を図る。

イ 豊かな心を育む教育活動の推進

- 学校の教育活動全体を通じた道徳教育や人権・同和教育、家庭や地域、関係機関等と連携した体験活動の充実を図る。
- 不登校やいじめ問題に対して、未然防止や早期発見・早期対応など適切に対応できる校内体制や関係機関等との連携等の強化に取り組む。
- ユニバーサルデザイン教育を推進する。

ウ 健やかな体を育む教育活動の推進

- 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせ、感謝の気持ちをもって食事をしようとする態度を育てる。
- 体育的行事や児童の自主的な活動を通して、運動習慣の形成や運動意欲を高め、体力向上を図る。

エ 幼・保・小・中連携の推進

- 幼保との交流活動などを通して、基本的な生活習慣の指導などの連携を図る。
- 中学校と連携した授業や研修等により、中学校進学を見通した生活指導・学習指導を行う。(武雄中学校との連携)

オ 時代のニーズに対応した教育の推進

- ICT利活用教育を充実させ、授業の質の向上を図る。
- 特別支援教育について、教職員全体の専門性の向上と校内支援体制の充実を図る。

カ 家庭・地域との連携強化

- 官民一体型学校づくりの更なる推進と、コミュニティ・スクールの導入促進を図り、地域と一体となって児童を育てる開かれた学校づくりに取り組む。
- 家庭学習について、授業と関連させたり、応用的・探究的な課題に取り組ませたりして、主体的に学ぶ力を育成する。